2
笑顔を『育む』プログラム

2-1 松山の魅力をみんなで育む「まち育て」プロジェクト

①将来のイメージ

町内会などの地域団体への相談支援や地域指導者の育成、市民一人ひとりの自治意識の醸成などに積極的に取り組んできたことで、まちづくりは地域住民で行うという機運が高まり、住民自治組織であるまちづくり協議会*の設立が着実に広がるなど、地域コミュニティ活動が活発に行われています。さらに、まちづくりを推進する市民団体やNPO*が効果的かつ継続的に活動できるよう支援を行うとともに、団体同士の連携やマッチングなどにも力を入れてきたことから、市民活動を行う団体数や参加者数が増えています。

また、タウンミーティング*や多様な媒体を活用した意見提言制度、審議会への市民参加の広がりなどを受け、市民が市政に参加する機会が増えており、まちづくりに対する意見や議論が活発に交わされるようになっています。そして市内の多くの地域で、市民と行政が協働し地域資源を生かしたまちづくりや、美しい景観形成や環境の保全に対する取り組みが行われています。

中心市街地では、魅力的なお店や働く場が増えるなど、誰もが訪れたくなる空間に生まれ変わるとともに、市民が企画するイベントや地域コミュニティを重視した取り組みなどにより、そこで暮らす人や働く人、観光客など、様々な人々の交流をとおしたにぎわいが生まれています。

北条や島しょ部では、「松山市風早（かざはや）レトロタウン構想」や「松山市愛ランド里島（りとう）構想」に沿って、それぞれの地域固有の魅力的な資源を活用したまちづくりが推進され、暮らしやすさが向上するとともに、地域外からも訪れる人が増えるなど、まちが元気になっています。

②主な取り組み

- まちづくりに携わる団体等への支援
- 市民との協働による地域資源の利活用
- 風早（かざはや）・忽那（くつな）諸島の活性化
- 中心市街地のにぎわいづくり
- 地域コミュニティとしての商店街活性化
- 松山らしい景観の形成と環境の保全

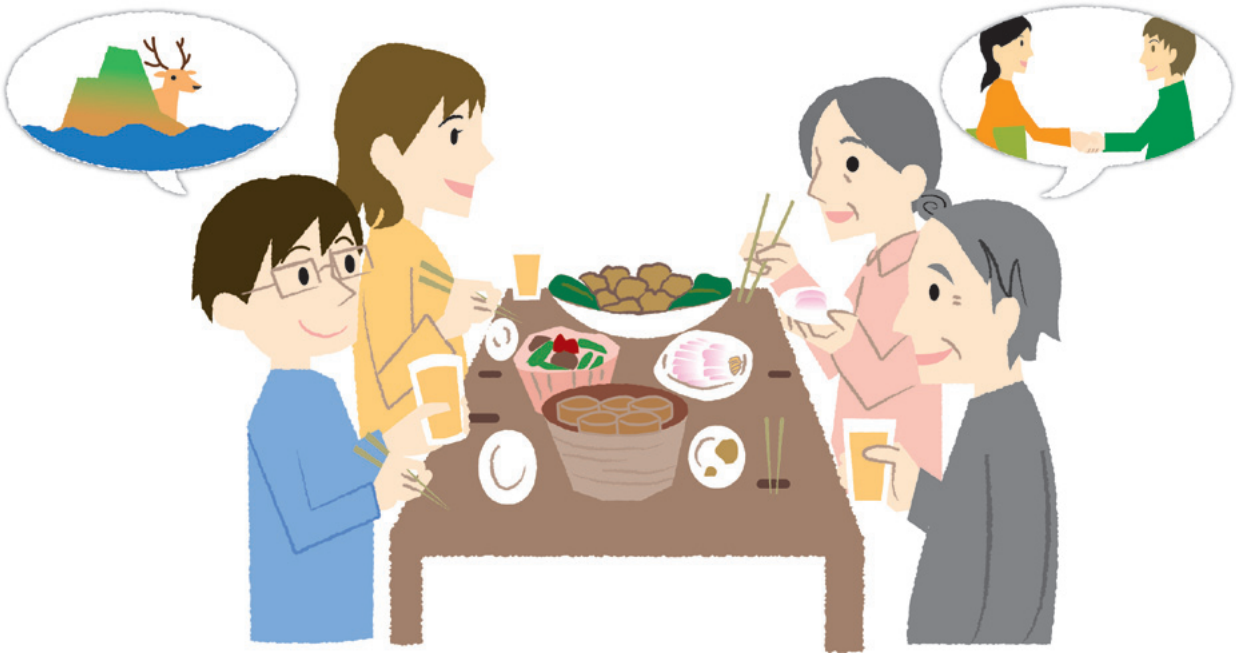
③将来のひとコマ

松山さん夫婦と両親の新築祝いはまだまだ続いています。愛子さんが「環境関連の団体は、市内にどれくらいあるんですか？」と尋ねたところ、お母さんは「私も全部はわからんのやけど、昔に比べるとずいぶん増えとるみたいなんよ。最近は、団体同士の連携が活発になったけん、普段から情報交換をしたり大きなイベントを共催したり、活動の幅が広がってきとるんよねえ。」

その話を聞いていたお父さんは、「環境に限らず、ほかの分野でも団体同士の連携が進んどるらしいんよ。しかも、分野が違っとっても、お互いの専門知識やアイデアを交換して、それぞれの活動に生かしていくところが増えていきよるみたいやな。そういや、団体の連携や協働が進むように、市がいろいろと考えてくれとるとＮＰＯの理事が言いよったわい。」

「最近は街なかでも、いろんな団体が一緒にやるイベントが増えとるような気がしとるんよ。イベントを毎年開催して知名度が上がったけん人が多く集まるようになって、まちがにぎやかで元気になっとるんがええなあ。」と松山さんが言うと、愛子さんも「島しょ部や私の実家がある北条でも、地域にある資源を活用して、まちの魅力を高めるような取り組みが盛んになって、人がたくさんそこに行きよるみたいなんですよ。」

「そうなんよ。先月も、みんなで風早（かざはや）地区のイベントを見に行ったしな。道の駅風和里（ふわり）も大にぎわいやったけんなあ。そういや子どもの頃遠足で行った鹿島もきれいになっとるらしいよ。」と松山さんが言うと、それを聞いていた両親が興味をもったので、次の週末にはみんなで北条に行ってみることにしました。



2-2 出会いから子どもの成長まで「つながる未来応援」プロジェクト

①将来のイメージ

若い世代の晩婚化や非婚化*が進む中で、松山市では、将来のよきパートナーとの「出会い」の創出を促進してきました。最近では、市が支援するイベントなどをとおして、恋愛や結婚に対して前向きな人が増えています。

また、出産を控えた夫婦は、妊婦の相談窓口や医療体制も整っているので、安心して出産に臨むことができます。

出産後は、安心して子どもを預けられる場所や、子育ての不安や悩みを相談できる窓口なども充実しているほか、子どもが急に体調を崩した時など、いつでも適切な診察を受けられる小児救急医療体制も整っており、子育てに対して大きな負担を感じることなく、ゆとりをもって楽しく子育てができます。さらに、子育て世代が集まる場所もたくさんあるので、子どもを一緒に遊ばせながら、子育てに関する情報を交換するなど、交流を深めることができます。

そして、安全な通学路や、放課後、子どもたちが安全に楽しく遊んだり、学んだりできる場所が、市内に十分に確保されており、地域の人たちが、子どもの見守りに参加したり相談に乗ったりするなど、子育てに積極的に参加しているので、のびのびと元気に遊ぶ子どもたちの笑顔や歓声があふれるまちになっています。

②主な取り組み

- 出会いのサポート
- 安心して子どもを産むことができる環境の整備
- 子育て・子育ちに関する相談体制の充実
- 小児救急医療体制の充実
- 子どもの居場所づくり
- 子どもの安全の確保

③将来のひとコマ

昼休み、愛子さんは、職場の後輩である河野さんとランチにでかけました。

「河野さんも、いよいよ来月から産休に入るんやねえ。」愛子さんが言いました。「でも、最近あんまり元気がないみたいやけど、悩みでもあるん？」

河野さんは答えました。「子どもが産まれてくるのはうれしいんですけど、無事に出産できるか、ちゃんと子育てできるか、仕事も続けられるか、いろいろなことが不安になってしまって・・・。愛子さんは、悩んだりしなかったですか？」

「最初は私も心配やったし、悩んだこともあったんよ。」愛子さんは話します。「でも、松山市は医療体制も整っとるし、出産前もいろいろ相談できたけん、ずいぶん気持ちが楽になったよ。子どもが産まれてからも、心配なことは相談できたし、市のイベントに参加して、ほかのママやパパと友達になれたし、みんなでおしゃべりするのも息抜きになったしねえ。子育ては大変なことも多いんやけど、結構楽しいもんよ。」

「仕事との両立はどうしてるんですか？」と河野さんが尋ねると、愛子さんは、「笑太（しょうた）の時は保育所になかなか入れんかったけど、幸子（さちこ）の時は申請して希望の時期にすぐに入れたけん、そんなに心配せんでも大丈夫なんよ。」と言いました。

最後に愛子さんが、「困ったときはいつでも相談に乗るけん、育児休暇の間は子育てを思いっきり楽しんで、また職場に戻っておいでや。」と言ってくれたので、昼休みが終わる頃には、河野さんの気持ちはすっかり軽くなっていました。

2-3 みんなで伝え合い学び合う「知恵と知識の循環」プロジェクト

①将来のイメージ

小中学校では、知識や考える力はもちろん、他人を思いやる豊かな心や健やかな体を育む教育にも力を入れており、子ども一人ひとりにきめ細かく目を配るとともに、各学校の地域性などを生かした特色のある活動のほか、小・中学校連携をはじめとする学校間交流など、教科のみならず多様な教育が行われています。そのため、松山の子どもたちは、勉強熱心でスポーツも得意なことに加えて、コミュニケーション能力も高く、様々な地域活動の中で、主体的にいきいきと活躍しています。

子どもだけではなく、大人たちも学習意欲が高く、様々な機会をとおして開催されている各種講座に参加する人の数が年々増えているほか、全ての人が互いに尊重し合う社会に向けた人権教育の機会も充実しています。また、自らが学習したことを実際のまちづくりや子どもの育成に生かしている人もたくさんいます。

生涯学習や地域活動の場である公民館では、子どもからお年寄りまで、様々な年齢の人が集まるイベントが開かれており、世代に関係なく活発な交流が行われています。その中では、それぞれの得意分野に関する知識をお互いに伝え合い、刺激し合うことで、さらに交流が深まり、学ぶ意欲の向上につながっています。特に、様々な経験に基づく知識が豊富なお年寄りが開催するイベントは、参加者の人気が高く、毎回大盛況で、企画を考えるお年寄りたちも大いにやりがいを感じています。

また、交流の中には、地域に住む外国人も加わり、お互いの国の言葉や音楽、料理などの文化を紹介し合う機会も多くなっているほか、姉妹・友好都市であるサクラメント市やフライブルク市、平澤（ぴょんてく）市をはじめとする諸外国との交流も広がりを見せています。

②主な取り組み

- 生きる力*を育む学校教育の充実
- 生涯学習の機会と実践の場の充実
- 人権教育・啓発の推進
- 国際交流の推進
- 世代間交流の促進
- 高齢者の生きがいづくり

③将来のひとコマ

土曜日の午後、出勤していた松山さんが家に戻ったところに、愛子さんと笑太(しょうた)くん、幸子(さちこ)ちゃんも帰ってきました。三人は公民館のイベントに参加していたのです。

「おかえり。今日は行けんかってごめんな。発表はどうやったん？」松山さんが尋ねました。今日は松山の歴史について、それぞれの参加者が自分たちで調べたことを発表するイベントでした。

「大成功やったよ！」と笑太くんが元気に答えました。「みんなぼくの発表をとても熱心に聞いてくれたし、質問もたくさん出たんよ。答えられんこともなんぼかあったけど、僕の前に発表したおじいさんが助けてくれたんよ。」幸子ちゃんも続けます。「とても楽しかったよ。」

「そうなんよ、みんなとても親切で、笑太にいろいろ教えてくれたんよ。それに、発表の準備も、イベントを主催した大学生グループや学校の先生が手伝ってくださったし、幸子のお世話までしてくださったんよ。」と愛子さんが言います。「みんな子どもの興味に熱心に応えてもらえるけん、子どももやる気が出るんよね。どの子もとっても楽しそうやったよ。」

「それはよかったね。あれ？　君のお母さんも一緒じゃなかったん？」松山さんが尋ねると、愛子さんが答えました。「講師をしよる郷土料理の講座の生徒さんたちもイベントに来られとって、声をかけてくださったんよ。イベントが終わってから、生徒さんたちとお昼を兼ねて、来週開催する子ども向けの料理教室の打ち合わせに行ったんよ。」

愛子さんが続けました。「来月は、環境にやさしいまちづくりに関する講演があるんよ。環境先進都市のフライブルク市の方が来られて、お話をしてくださるんですって。あなたのお父さんはドイツ語を習ってらっしゃるんでしょう。みんなで行きましょうよ。」

松山さんは早速実家に電話をかけることにしました。